

目標管理型の政策評価に係る評価書の標準様式

施策名	目標6-1 環境リスクの評価					
施策の概要	化学物質による人の健康や生態系に対する環境リスクを体系的に評価					
達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質の環境リスク初期評価調査を実施し、環境を経由した化学物質による影響の未然防止を図る。 化学物質の内分泌系かく乱作用について調査研究を実施し、各化学物質が人の健康や生態系に及ぼす影響について明らかにし、リスク評価を実施する。 子どもの健康と環境に関する全国調査を実施し、次世代育成に係る健やかな環境の実現を図る。 					
施策の予算額・執行額等	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	
	予算の状況(千円)	当初予算(a)	171,528	138,208	109,496	119,822
		補正予算(b)	0	0	0	0
		繰り越し等(c)	△1,575	1,575	(※記入は任意)	/
		合計(a+b+c)	169,953	139,783	(※記入は任意)	
執行額(千円)	140,925	121,868	(※記入は任意)			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)						

測定指標	1 化学物質環境実態調査を行った物質数・媒体数	基準値	実績値					目標値
		16年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
		-	344	220	151	151	106	96
	年度ごとの目標値		/	344	220	151	151	/
	2 化学物質審査規制法の優先評価化学物質に係る環境調査事業を行った物質数・媒体数	基準値	実績値					目標値
		16年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	年度
		-	-	-	-	-	16	-
	年度ごとの目標値		/					/
	3 EXTEND2010における検討対象物質として、平成26年度末までに100物質程度を選定する。	基準値	実績値					目標値
		16年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
		-	12	27	40	63	85	100
	年度ごとの目標値		/					/
	4 環境リスク等初期評価実施物質数	基準値	実績値					目標値
		16年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
		57	33	23	21	19	23	14
	年度ごとの目標値		/	-	-	-	19	19
	5 子どもの健康と環境に関する全国調査の参加者(親子)数(累積)	基準	施策の進捗状況(実績)					目標
		年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	39年度
		-	11 (パイロット調査H21年2月よりルート開始)	453 (パイロット調査)	3,208 (調査実施体制の整備・H23年1月調査開始)	30,626	64,572	100,000
	年度ごとの目標値		/	-	-	8,000	33,000	68,000

施策に関する評価結果	目標の達成状況	<p>○化学物質環境実態調査では、106物質数・媒体数の化学物質の一般環境中における残留状況を把握し、化学物質に係る各種施策に活用された。</p> <p>また、化学物質審査規制法の優先評価化学物質に係る環境調査事業では、16物質数・媒体数の化学物質の一般環境中における残留状況を把握し、優先評価化学物質のリスク評価に活用された。</p> <p>○化学物質の内分泌かく乱作用を評価するための試験法の開発を進めるとともに、個別の化学物質についての評価を進めた。</p> <p>○平成24年度については、環境リスク初期評価のための基礎情報の収集・検討作業を推進し、目標の19物質に対し、23物質について環境リスク初期評価結果をとりまとめた。なお、25年度については環境リスク初期評価手法の見直しを併せて行うため、環境リスク初期評価実施物質数を前年度比下方修正し14物質とする。</p> <p>○「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」については、基本計画に基づき、調査実施主体となるコアセンター、メディカルサポートセンター、全国15地域のユニットセンターにおいて調査実施体制を整備し、平成23年1月末より参加者の募集・登録を開始した。平成24年度はリクルート数の目標が68,000人であったのに対して、64,572人がリクルートされた。</p>
	目標期間終了時点の総括	—

学識経験を有する者の知見の活用	<p>○中央環境審議会環境保健部会化学物質評価専門委員会</p> <p>○環境リスク初期評価に関しては、中央環境審議会環境保健部会化学物質評価専門委員会において専門的な検討をいただいているところ。</p> <p>○多数の専門家からなるエコチル調査企画評価委員会、国際連携会議、広報戦略委員会を設置し、本調査の企画・評価を実施し、適宜事業に反映。</p>
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	平成25年度版「化学物質と環境」(平成26年3月公表予定)
---------------------------	-------------------------------

担当部局名	環境安全課 環境リスク評価室	作成責任者名	上田 康治 長坂 雄一	政策評価実施時期	平成25年6月
-------	-------------------	--------	----------------	----------	---------